

- 外来棟及び中央診療棟の改修工事
- スーパーナース育成プランについて
- 嗅覚・味覚外来の紹介
- ライトコートを開放しています
- 新型インフルエンザ診療について
- 新手術棟・小児科病棟完成内覧会、懇談会を実施

## 外来棟及び中央診療棟の改修工事が始まります

### 病院再開発推進室

「機能集約」「地域密着」「医療安全」のコンセプトのもと、平成17年度から始まった病院再開発事業は、D病棟の新築・手術棟の増築・既存病棟（A・B・C病棟）の改修が完了し、平成21年11月23日には最後の病棟移転が無事終了しました。



新手術棟 手術室

平成21年12月からは、いよいよ、最後の大きな仕事である**外来棟及び中央診療棟の改修工事**が順次始まります。外来棟及び中央診療棟の改修においても、他棟の改修同様、現場スタッフのアイデアを数多く取り入れ、患者さんのプライバシーへの配慮・アメニティ向上、さらに、毎日の診療業務改善に繋がるような改修となる予定です。

外来棟の改修工事は、まず改修診療科をいったん外来仮設診療ブースへ移転し、その間に改修工事を行い、改修後に元の場所へ戻るという方法で行います。一方、中央診療棟は、診療を行いながらの改修を予定しています。中央診療棟を何工期かに分け、順次改修を行う計画です。

### 外来棟 玄関ロビー



外来改修工事のトップバッターは、病院1階の脳神経センター（精神科・神経科、脳神経外科、神経内科）で、平成21年11月29日(日)に病院2階の外来仮設診療ブースへ仮移転を行いました。

他診療科についても、順次（3～4ヶ月のスパンで）改修工事を行い、平成24年3月に、すべての改修工事が完了する予定です。

なお、改修期間中は、外来仮設診療ブースまたは一時避難ブースでの診療となるため、診察室・待合スペースが少なく、みなさまには何かとご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

平成24年3月に全ての工事が完了する予定です

## スーパーナース育成プランについて



看護部長 藤野 みつ子

臨床現場において、看護師が一人前になるまでの教育、すなわち現任教育は、経験看護師が日常業務をこなしながら、新人・後輩看護師を指導するということになっています。しかし、医師不足や医療の高度化にともない、看護師の専門性や職務内容・業務量がますます拡大する中、現任教育にかかる負担は増大し、有効かつ効率的な現任教育が難しくなっています。

EBM・EBN（根拠に基づいた医療と看護）の実践のため、スキルズラボ（人体模型をおいた教育施設）を活用して、より高度な看護実践家、すなわち「スーパーナース」の育成を目指します。

「スーパーナース」は、看護学生から現役看護師まで幅広く指導できる総合的な看護教育者でもあります。「スーパーナース」を通し、現役看護師の技能・看護の質の向上をサポートするほか、豊富な臨床経験を生かし、本学看護学科の教員と協同で学生の教育を担います。学生が卒業後、臨床現場において、よりスムーズに看護技術を習得できるよう、また、臨床現場と教育現場をつなぐ架け橋的役割となることも期待しています。

具体的には、まず、実践的な看護トレーニングができる「看護臨床教育センター」を院内に開設するとともに、多様な看護教育プログラムの開発を行います。

そして、看護教育プログラムについては、助産師、新人看護師、休職者など、各レベルにあわせて実践さながらの内容を用意し、看護師の人材確保につなげたいと考えています。

また、将来的には、地域の看護教育に貢献できるよう、県下の医療機関と連携し教育体制の構築に取り組んでいこうと考えています。

※本取組は、文部科学省「看護職キャリアシステム構築プラン」に選定され、本年度から5年間計9,800万円の支援を受け実施します。



# 嗅覚・味覚外来の紹介

耳鼻咽喉科 小河 孝夫・中多 祐介

嗅覚・味覚は、環境中の危険を察知するとともに、人間らしい潤いのある生活を維持するために欠くことのできない感覚です。

当外来では「においがわからない」または「味がわからない」と訴える患者さんの治療に従事しております。

嗅覚・味覚障害の治療にあたっては、まず、「なぜ悪くなったか」（原因）、「どれくらい悪いのか」（障害の程度）を問診、嗅覚・味覚検査、画像検査によって正確に診断をつける必要があります。その上で、原因に応じた治療法を選択します。

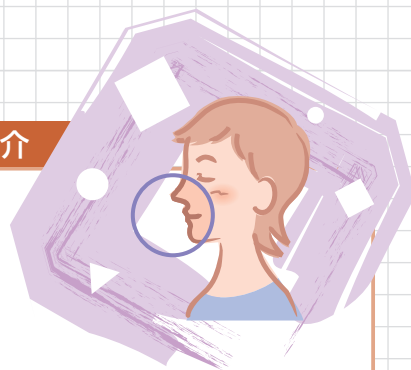
## 嗅覚・味覚外来

- 外来開設日：毎週水曜日午前
- 問い合わせ：耳鼻咽喉科外来  
(077-548-2573)

※受診には原則予約が必要です

嗅覚障害に対しては、ステロイド薬点鼻療法、抗生剤、ビタミン剤などの内服療法を行います。原因が副鼻腔炎で手術により改善が期待できる患者さんには、鼻内視鏡手術を勧めております。また、最近は感冒罹患後の嗅覚障害に対して漢方治療を行っておりますが、従来の治療に比べ良好な治療効果が得られております。

味覚障害に対しては、亜鉛製剤、ビタミン剤、胃薬などの内服療法を行います。

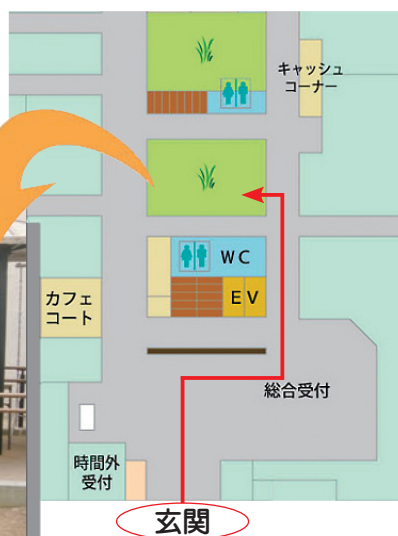


# ライトコートを開放しています

医療サービス課 患者サービス係

平成19年12月から病院敷地内全面禁煙実施に伴い閉鎖していました1階の中庭（ライトコート）を9月から開放しております。開放時間帯は6時～21時です。（夜間は施錠しています）。

休憩や食事を  
とられるのに  
是非ご利用ください



※なお、病院敷地内（駐車場等屋外も含む）はすべて禁煙です。  
ライトコートでの喫煙はできません。ご理解とご協力をお願いいたします。

# 新型インフルエンザ診療について

## 感染制御部

新型インフルエンザワクチン接種の「優先接種対象」とされている以下の方々に、厚生労働省より発表されている優先順位に従って、ワクチン接種を実施しております。

- 妊婦の方（本院に入院または外来通院されており、接種を希望される方）
- 基礎疾患を有する方（本院に入院または外来通院されており、接種を希望される方）

対象の方については、妊婦健診・外来受診の際に、担当医師にお申し出下さい。  
（※時間外および電話での予約はお受けできません）

本院にかかれていない方については、本院でのワクチン接種はできません。

※本内容は平成21年11月10日現在のものです。厚生労働省・滋賀県のワクチン接種計画に変更があった場合は、随時、本院でのワクチン接種についても変更の可能性が有りますことをご了承ください。



# 新手術棟・小児科病棟完成内覧会、懇談会を実施

総務課総務係



平成21年11月15日(日)に新手術棟及び小児科病棟の完成内覧会を開催しました。

当日は、滋賀県選出の国会議員、地方自治体（滋賀県、大津市、草津市、守山市）、滋賀県医師会等の来賓をお招きし、最新設備が整備された新手術室及び小児科病棟のNICUや廊下・壁・天井に描かれた「小児アート」を内覧していただきました。

引き続き行われた馬場学長、柏木病院長及び本学関係者との懇談会では、地域医療の充実に向けた本院への要望や期待などを拝聴しました。また、馬場学長からは「今後も地域の中核医療機関としての役割を果たしていきたい」との抱負が述べられるなど、貴重な意見交換の場となりました。

## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第25号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012 (企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します